

8-5-5 ICT委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

委員会開催回数：10回

(2) 主な内容

当委員会は、15社18名の委員が参加し、DX推進、i-Construction、BIM/CIM等のICTを対象に、調査・研究と会員企業の啓蒙・普及に取り組んだ。その活動は協会内にとどまらず、外部活動へも参画、連携を図ることで最新情報を収集し、それらの情報に基づいて関連講習会を開催する等、会員企業の生産性向上や働き方改革に貢献した。

a) 協会内部での連携

生産性向上や働き方改革に関する協会内部の委員会やWGに参加した。また、それらの活動を通じて得られる最新情報の加盟各社での共有を図るために、各支部との連携強化を推進した。

- ① 未来塾対応WGへの参加
- ② 技術部会統括技術委員会生産性向上WGへの参加（国土交通省「ICT導入協議会」、国土交通省「BIM/CIM推進委員会」、東京大学i-Constructionシステム学講座「協調領域検討会」）
- ③ ICT普及専門委員会を中心とした本部一支部情報連携体制の整備
- ④ RCCM（管理一般分野（BIM/CIM等））自主学习教材の改訂

b) 外部機関との連携

外部機関との連携を図るため、国土交通省や（一財）日本建設情報総合センターが設置した委員会、WGへ委員を派遣し、意見照会対応や意見具申を行った。

- ① 国土交通省「BIM/CIM推進委員会」の各WG
- ② JACIC「社会基盤情報標準化委員会」
- ③ JACIC-bsJ「国際土木委員会」
- ④ 近畿・中部・中国・四国の各地方整備局のDX推進センターが主催したBIM/CIM関連の研修において、設計者の視点に基づいた講

義を担当（ただし、各整備局との連携を図る目的で、実務的には各地方支部が担当した。）

c) 電子入札関連

- ① 令和4年度電子入札コアシステム特別会員会議への参加（令和5年1月20日）
- ② オンライン電子納品と維持管理DBシームレス連携研究会

d) 啓発・普及のための活動

加盟各社の生産性向上と働き方改革を支援するために、ICTに関する講習会を地方支部と共同で開催した。昨年度まではCOVID-19の影響により開催を見送ってきたが、今年度早々の収束傾向を見極め、以前と同様の開催に戻した。

- ① CIMハンズオン講習会：全国9支部（うち2支部は2回）、それぞれ2日間で開催
- ② GIS講習会：2種類のシステムについて、それぞれ全国9支部と2回（対面式とオンラインを1回ずつ）で実施
- ③ ICTセミナー：ウェビナー開催（11月30日、後日協会CPDサイトで録画配信）

e) アンケート調査の実施

ICT普及専門委員会内で「地方整備局におけるBIM/CIM業務の発注における中小企業向け配慮の実態調査」を実施した。（令和4年6月）

2. 次年度の活動について

急速かつ広範囲で進歩するICTの動向を把握し、建設コンサルタントのDXに貢献するために、今年度同様、協会内外と連携をとりながら活動を継続する。とくに、地方支部からの要望が強い3つの講習会は、最新情報を取り込みつつ、受講者のレベルに合わせたカリキュラムを改良する等、より一層の充実を図る。

一方、データ連携やプロセス改革等、当委員会に関連する機会が益々増えていくため、他の部会や委員会と協力しつつ、役割分担を明確にして、協会内での最大限の効果を上げるよう貢献する。

（ICT委員会委員長 小沼 恵太郎）